

イカナゴ親魚調査結果概要

香川県水産試験場

平成 22 年 12 月 14 日及び 12 月 28 日の計 2 回、高松～庵治地先において空釣こぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1. 親魚密度

- ・速力 3～5 ノットで 1 地点 5 分曳きを 3 回、計 5 地点で実施した。
- ・親魚密度（空釣こぎ 1 回当たりの採集尾数）は 14.2 尾で、昨年の 5.3 尾を上回った。
- ・親魚は、St.8 において多数採集されたが、他の 4 地点（特に St.3 および St.4）では低密度であった。
- ・年齢組成は 0 才魚が 99.5 %，1 才魚以上が 0.5 %で、昨年に比べると 0 才魚の割合が大幅に増加した。

*年齢の起算日は 1 月 1 日（0 才魚：平成 22 年 1 月 1 日生まれを示す。）

表 1 親魚密度（空釣こぎ 1 回当たりの採集尾数）

| | 0才魚 | 1才魚以上 | 全体 |
|----|--------------|-------------|--------|
| 今年 | 14.2尾(99.5%) | 0.1 尾(0.5%) | 14.2 尾 |
| 昨年 | 1.6尾(31%) | 3.6 尾(69%) | 5.3 尾 |

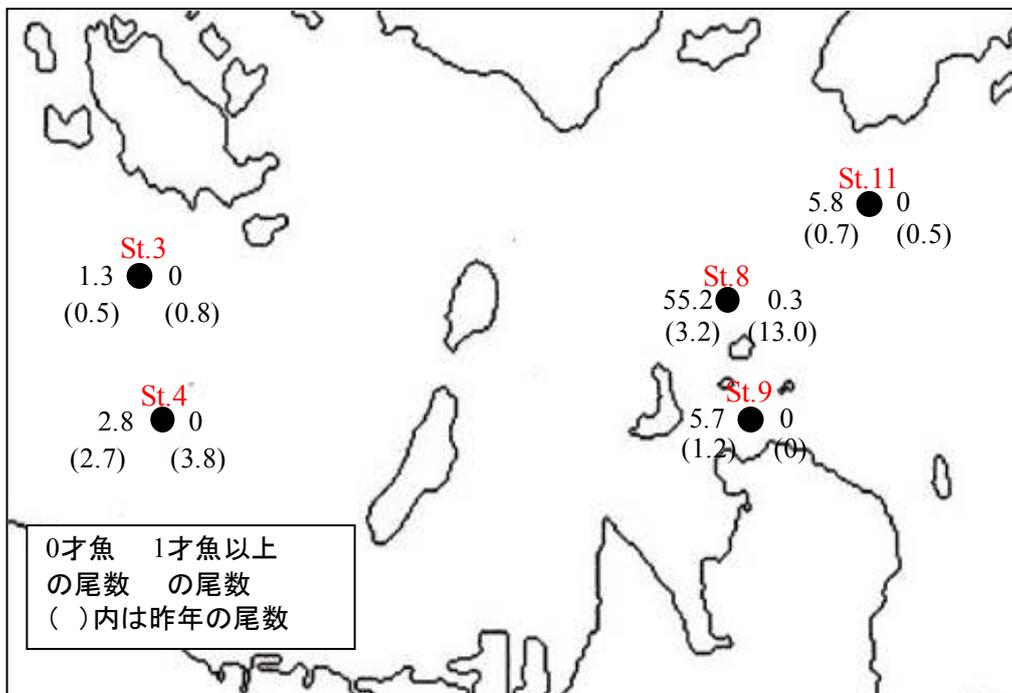


図 1 調査地点毎の親魚密度（空釣こぎ 1 回当たりの採集尾数）

2. イカナゴ親魚の全長組成

全長測定の結果を図2, 3に示した。

今年の平均全長は0才魚が88.9 mm (n=425), 1才魚が141.6 mm (n=2)であった。

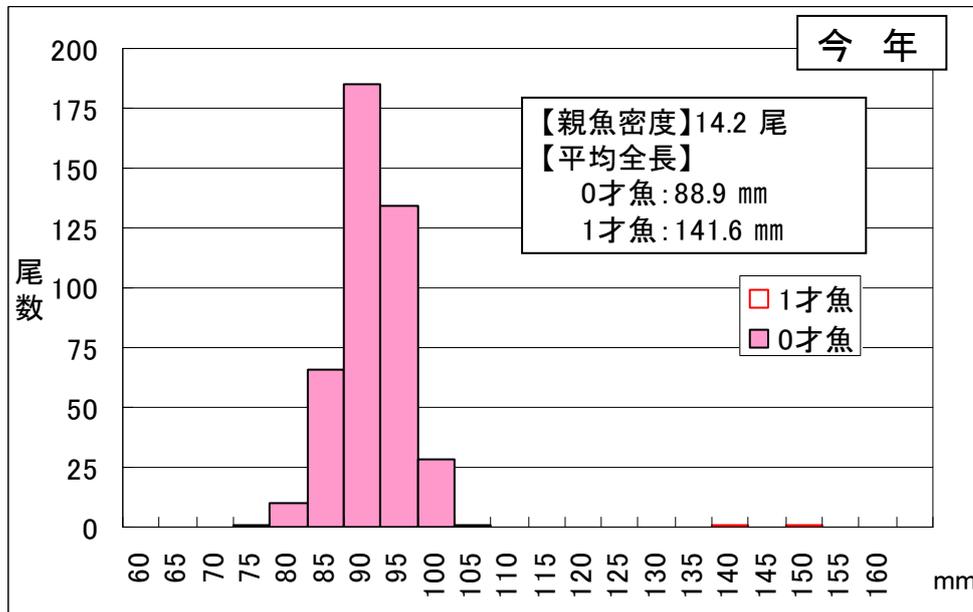


図2 イカナゴ親魚の全長組成 (平成22年12月)

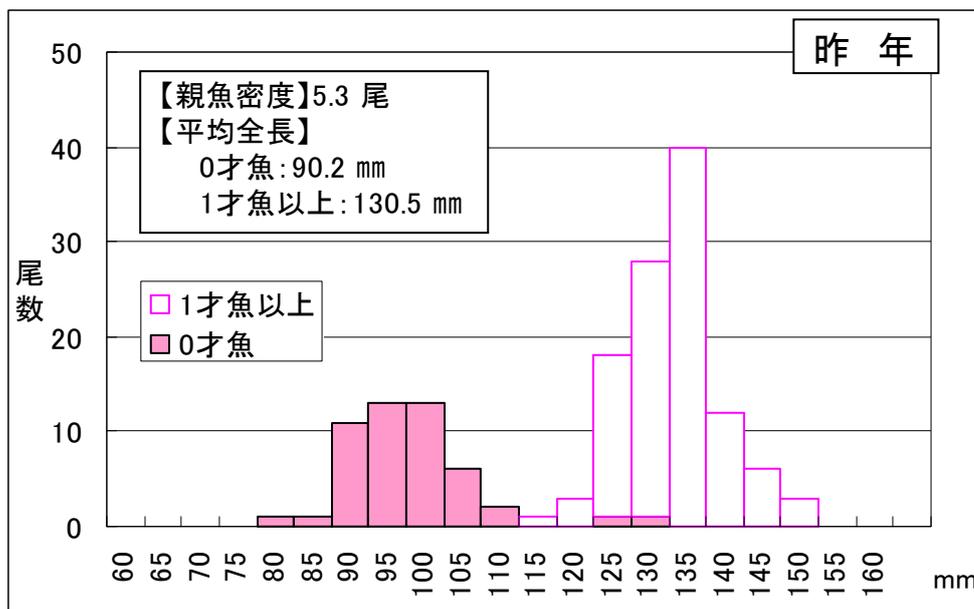


図3 イカナゴ親魚の全長組成 (平成21年12月)

3. 産卵状況

12月14日の調査では全体採集尾数の5割, 28日の調査では同8割が採集された St.8(図1)におけるイカナゴ親魚(0才魚, 雌)の生殖腺熟度指数(GSI(%)) = 生殖腺重量 ÷ 体重 × 100)の出現状況を図4に示した。St.8を除く4地点および1才魚のGSIは採集尾数が少ないため, グラフには掲載していない。

GSI の平均値は、12 月 14 日から 28 日の間に低下した。よって、St.8 における今年の産卵盛期は 12 月末頃と推察される。

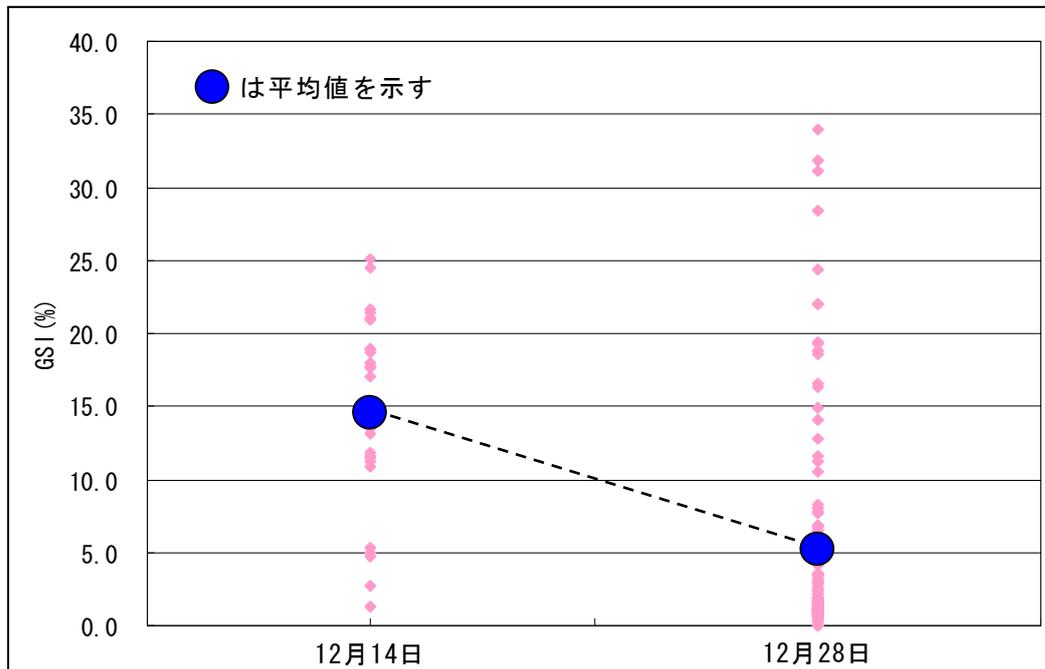


図 4 イカナゴ親魚 (St.8, 0 才魚, 雌) の生殖腺熟度指数

4. 今後の予定

○稚仔の出現状況調査

備讃瀬戸及び播磨灘の 23 調査地点において、1 月前半、後半及び 2 月前半の 3 回実施予定。

○イカナゴ新仔 (シンコ) 情報の公表 : 2 月中旬頃を予定